

様式3 【物・文化財・風景など実態のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開の可否 (可・否)

区分	1.森づくり 4.森と暮らし	2.森の恵み 5.森の文化財	3.森と技 6.森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 木工	(ふりがな) もっこう	
地域独特の呼び方	—		
タイトル	太鼓胴作り		
伝承地域	南会津郡南会津町(田島地区)		
由来 (年代)	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか)		
内容	<p>(内容とともに、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合はレシピなども)</p> <p>太鼓胴を作るのには太い原木が必要であり、太鼓の大きさに合わせてタマガリをする。樹種はケヤキ、セン、タモ、シオジ、クリ、トチが適する。</p> <p>通常、太鼓の長さは胴の最も太い部分の外径と等しくなるように仕上げる。よって胴の太さによってその長さ、太鼓の大きさが決まってくる。ただし、胴の長いマヤドウ、胴の短いヒラドウはその限りでない。</p> <p>作り方は、昔の方法では、ブンマワシと呼ぶコンパスのようなもので円を描き、スミサシができるとチョウナで外側を削り、次いでホリヨギで内側を掘り抜く。</p> <p>現在は外側を電気カンナで荒削りし、内側にボードギリで反対側まで届くように穴をあけ、ヒキマワシノコという極細の鋸で一周挽き回し中を丸くえぐり抜く。それからくの字形に刃先の曲がったテポッコで内側を掘る。</p> <p>昔の方法では一つのタマガリから一つの胴しか取れなかったが、ヒキマワシノコでえぐり抜く方法では、次々と小さい胴が取れる。</p> <p>製品は荒削りのまま太鼓屋に納める。</p>		
大きさ・材質	(大きさ・緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの。)		(材質)
見頃	(緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。)		
交通アクセス			
文化財等の指定状況			
問い合わせ先	(出典)『田島町史 第4巻 民俗編』 南会津町教育委員会		

【フリーフォーマット】※表面に記載した内容に関連したことを自由に記入してください。

キーワード

太鼓胴のヒキマワシ



(南会津町教育委員会)

ヒラ胴太鼓の内側を掘る



(南会津町教育委員会)

※活動の様子が分かる資料等があればコピーを1部ご恵与ください。